

PIP-2021FS

この製品はHDSDI信号を入力として次の機能を持っています。

機能

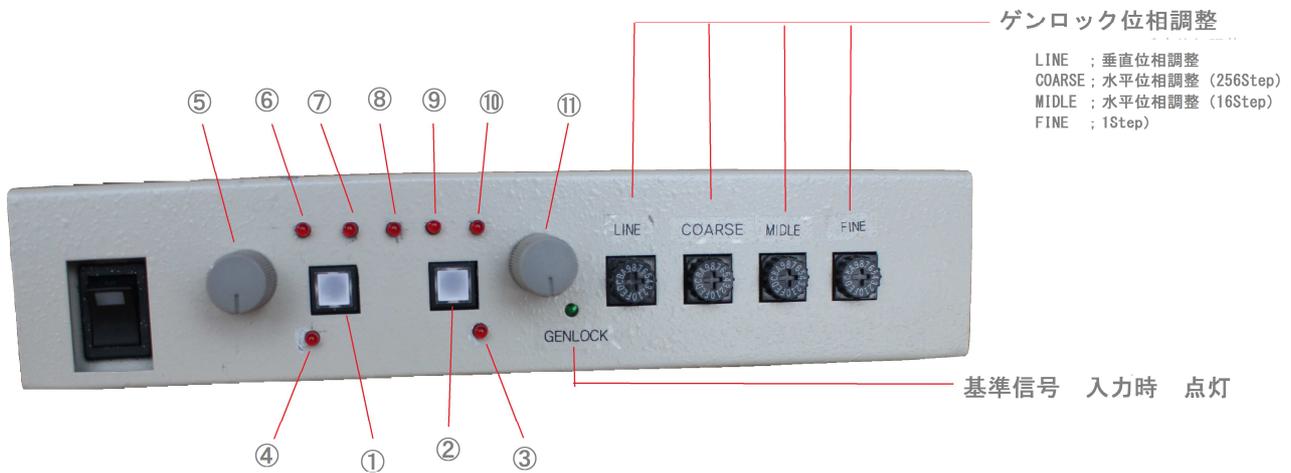
1. FSとして入力の基準信号（3値シンクまたはBB）に同期させ操作することが出来ます。（位相調整可能）
2. SDI入力信号は2系統用意しています。
1系統はメイン信号とし、他の1系統はサブ信号とします。
3. サブ信号の任意の画像を切り取り、メイン信号に重畳することが出来ます。
4. メイン信号に重畳したサブ信号の画像は【上】【下】【左】【右】に移動することが出来ます。
5. サブ信号の画像切り取りは【5色の画像】まで選択設定することが出来ます。
6. ①サブ信号の設定した画像をメイン信号に重畳する方法と、②サブ信号で設定した画像以外の画像をメイン信号に重畳する方法の2種を装備しました。

操作部

1. FS動作時の位相調整
 - ◎ LINE 垂直方向の位相を調整します。（±8ライン）
 - ◎ FINE 水平方向の調整を1ドット単位で調整可能です。
 - ◎ MIDDLE 水平方向の調整を16ドット単位で調整可能です。
 - ◎ COARSE 水平方向の調整を128ドット単位で調整可能です。
2. スイッチ
 - “SET” ボタン 動作モードや画像の記憶時にしよします。
 - “UP” ボタン 動作モードや画像の記憶時に使用します。
3. 調整ツマミ
 - ◎ HOR 切り取り画像の位置設定時に使用します。
重畳画像の【水平】移動時に使用します。
 - ◎ VER 切り取り画像の位置設定時に使用します。
重畳画像の【垂直】移動時に使用します。
4. LED表示
 - “FREEZE” サブ画面のフリーズ状態を表示します。
 - “SUB” 出力画面がサブ信号の時を表示します。
 - “SET1” ~ “SET5”
サブ画面の映像記憶場所（5箇所）を表示します。

別紙 参考画面はSDIテスト信号を表示したものです。

前面操作部の名称及び機能説明



- ① ”UP” ボタン
マーカーや画面位置を設定する時に使用します。
【上方向】又は【右方向】へ移動させる時に押します。
スイッチが点灯します。点灯した後、操作します。
消灯している時は、【下方向】又は【左方向】に移動します。
- ② “SET” ボタン
装置の動作状態を切り替える時に使用します。
- ③ “FREEZE” 表示
サブ画面がフリーズしている時に点灯します。
“SET” ボタンを押している状態で”UP” ボタンを押すと押す度にフリーズがON/OFF します。
- ④ “SUB” 表示
出力画面がサブ画面の時に点灯します。(自動表示)
- ⑤ “HOR” ツマミ
マーカーの位置や画面の位置を【水平方向】に移動させる時に使用します。

- ⑥ “SET1” 表示
画像の記憶場所を表します。
電源投入時は1秒間隔の点滅状態です。
- ⑦ “SET2” 表示
画像の記憶場所を表します。
電源投入時は1秒間隔の点滅状態です。
- ⑧ “SET3” 表示
画像の記憶場所を表します。
電源投入時は1秒間隔の点滅状態です。
- ⑨ “SET4” 表示
画像の記憶場所を表します。
電源投入時は1秒間隔の点滅状態です。
- ⑩ “SET5” 表示
画像の記憶場所を表します。
電源投入時は1秒間隔の点滅状態です。
- ⑪ “VER” ツマミ
マーカーの位置や画面の位置を【垂直方向】に移動させる時に使用します。